

安倍首相「改憲」を前面に 今国会で改憲手続き法案成立を狙う



昨年、あきる野市では、教育基本法を守ろうネットや新婦人などが連日のように「教育基本法を守ろう」と宣伝カーや駅頭などで呼びかけ運動の広がりを見せました。しかし与党は教育基本法改定案の採決を強行しました。さらには、防衛省を防衛庁にするとともに、自衛隊法を改悪して、海外派兵を自衛隊の本来任務としました。今国会の施政演説で安倍首相は、戦後レジュームを大胆に見直すとして、改憲の姿勢を鮮明にし、改憲手続き法（国民投票法）案の成立を期待すると表明しました。この法案によると投票の実施は成立後2年後となり、改憲が日程に上ってきました。九条の会は2月1日、全国の「会」が6,000を超えたことを発表しました。日本を「海外で戦争する国」にしないよう、活動の飛躍が求められています。当面、国民投票法案の学習会を計画します。

シールを普及し 賛同者を広げましょう



A9 シールを普及しながら「呼びかけチラシ」（10月発行・第5次）を使って賛同署名をさらに増やしましょう。1シート3枚付きで100円でお願ひします。チラシは事務局にお申し付けください。

進捗報告（1月末日現在）

賛同署名	呼びかけ人	シール回収数
850名	345名	322枚

劇映画「日本の青空」の 上映運動を進めましょう

劇映画「日本の青空」がクランクアップし編集作業に入っています。3月上旬には完成して上映運動が始まります。



「あきる野9条の会」事務局では、市内で上映会を行ないたいと考え、とりあえず会場を《キララホール 6月2日(土)午後と夜》で押さえました。

映画は「月刊誌の派遣社員沙也可が、憲法学者・鈴木安蔵の古びた日記帳を手がかりに、憲法誕生を巡る真実のドラマの核心に近づいてゆく」という筋立てで、憲法公布60年記念と銘打って製作中です。監督は大澤豊さん。原作・脚本は野辺在住の池田太郎さん。五日市憲法も出てきます。あきる野からは有志がエキストラに参加しています。この映画を、幅広い団体・個人の協力で多くの市民に観ていただくように取り組んでいきましょう。

戦争を語りつくす会 戦争体験記 大募集！



1月27日に第3回目の会がもたれ「①書き手を広く募りましょう ②賛同者以外にも広め、会を大きくしましょう ③賛同者に訴え入りの原稿用紙を配布します」などを決めました。原稿は1月末現在11名14編が集まっています。

次回2月24日(土) am10:30～中央公民館
(2ページに体験記を掲載)

日の出九条の会が1周年のつどい

1月27日、ひのでグリーンプラザで1周年のつどいが行なわれ、「憲法九条、今輝くとき」と題して梅田欽治先生（宇都宮大学名誉教授）が講演、シンガーソングライターの岡史明さんが「イマジン」などを演奏しました。約100名が参加しました。

おたより紹介 「A9ニュースNo.10を受け取りました。シール、車の後にはりつけます。街中にこのシールをつけた車が行き交うと愉快ですね。シール代100円も含めて千円同封します…(後略)」(入野 SSさんより)

お詫びと記事の削除 A9ニュース10号でお知らせした訃報(一部地域で配布)は、同姓同名(読み方)の方でしたが、呼びかけ人ではありませんでした。ここに関係者に深くお詫びし、全文を削除します。今後はこのようなことのない様十分検証して記載いたします。

劇映画「日本の青空」 有料試写会のお知らせ

製作協力券をお求めいただいた方を対象に行ないます。ぜひご覧ください、今後の上映運動にご協力ください。

日時:4月28日(土)pm2:00~

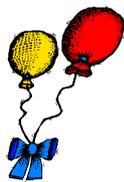
会場:あきる野ルピアホール

製作協力券のみの入場になります

なお、製作協力券は後日行なう予定の市内での上映会でもご使用いただけます。

「日本の青空」製作あきる野協力会

連絡先 渡辺照美(野辺・電話 558-9766)



ていた人たちが直撃を受けて多く死んだ。防空壕が決して安全な避難場所ではなかった。

やがて戦争が終わった。小学生だった私たちは、今のように、任天堂ゲームのようなしやれた物などない。遊びは何かというと、畑に落ちた爆弾の破片を集めることだった。大きさが5センチ、10センチ。一人の友達に20センチもの破片を見つける。大変な宝を見つけて、誰もうらやましがらる。だが、その爆弾の破片拾いで、仲良しの“てっちゃん”が、不発弾に触れたことで、片腕と片足を失った。悲しい出来事だった。

空襲にあった夜

増田 忠治 (雨間)

1945年8月1日の深夜から2日の早暁にかけ、八王子市は米軍機の焼夷弾の投下で町の8割が灰燼に帰した。わが家ももちろんである。私が小学校5年生、10歳の時である。

深夜、まだ警戒警報が解除されないで、服を着たまま、姉と私は縁側に寝ていた。ズックを履いたままである。すると、突然、次兄の「防空壕へ入れッ！」の声。跳ね起きて庭先の壕へ飛び込む。真っ赤な火が眼に映った。

今度はまた次兄の声、「川へ逃げろ！」。父と二人の兄が炎に包まれた家の中で何かを外に出そうとしている姿が眼の端に見えた。

すぐ近くの浅川の土手に出たが、眼が痛いほど煙が巻いていた。孫をおぶった母の後ろを泣きながら小走りについて逃げた。防空頭巾もいつの間にかなくなっていた。

結局、私たち親子は川を渡って対岸に逃げ、堤防近くの田圃の畦道にしゃがみ込んだ。近くの山には照明弾が落とされ、昼間のように明るく照らされていて、とてもそこへは逃げられなかったからである。その場

で夜明けまで対岸の火をずっと見ていた。

後で隣組の人が焼夷弾の直撃を受けて死んだと聞いた。

A9ニュースでは、皆様の投稿をお待ちしています。投稿は紙面の関係で主旨を変えずに短くすることがあります。(事務局までお寄せください)

● 街の話題

◎温泉問題 署名が5569筆に

温浴施設に対する事務監査請求の署名は2月6日締め切れ、目標を大きく上回る5,569筆に達したと温泉問題を考える会が発表しました。

◎ホワイトカラー・エグゼンプション(WE)見送りに

サポーター会で渡部正俊さんが、「若者のみなさん。いっしょに反対しましょう」と訴えた「WE」というホワイトカラー労働者の労働時間規制(労働基準法)を適用除外(エグゼンプト)する法案が、今国会で見送られることになりました。



▼ 手記「戦争体験」

今回は立川と八王子の空襲体験です。

立川での空襲体験

矢嶋 豊 (山田)

「お母さんの手を離してはいけないよ」と母親は叫んでいた。頭上をまだB29が通り過ぎるエンジンの音が恐しかった。上空から風を切って、爆弾の落ちてくる音を耳にしながら、必死に近くの諏訪神社に逃げ込んだ。近所の人たちが何人か神社のかび臭い防空壕に避難していた。

私は立川の飛行場のすぐ近くに住んでいた。当時7歳だった。立川飛行場と中央線を目標としていた米空軍は、焼夷弾を街に落とした。父親は、焼夷弾の爆風で飛ばされたが、軽い怪我で済んだ。焼夷弾の中から飛ばされたゴムのような液体が、建物に飛び散り、建物が燃え始める。父は隣組の人たちと必死で、濡れた簀をかぶせて、火の塊を消す。幸い私の家は燃えずに済んだ。

そのときの空襲で、立川では防空壕に避難し



劇映画
「日本の青空」を
みましよう。

6月2日(土)
キララホール